

2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年12月27日

上場会社名 株式会社ピクルスホールディングス 上場取引所 東
コード番号 2935 URL https://www.pickles-hd.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 影山 直司
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理財務部長 (氏名) 三品 徹 TEL 04-2931-0777
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	31,778	△4.4	1,312	△10.1	1,374	△11.0	921	△10.8
2024年2月期第3四半期	33,255	6.6	1,458	3.7	1,544	3.7	1,033	5.6

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 984百万円 (△4.4%) 2024年2月期第3四半期 1,029百万円 (5.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	74.11	71.87
2024年2月期第3四半期	82.83	80.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	30,935	18,848	59.6
2024年2月期	27,713	18,254	64.6

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 18,428百万円 2024年2月期 17,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2025年2月期	—	12.00	—		
2025年2月期（予想）				14.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,500	1.1	1,700	1.9	1,780	0.5	1,200	2.1	96.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 株式会社尾花沢食品

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年 2 月期 3 Q	12,858,430株	2024年 2 月期	12,858,430株
② 期末自己株式数	2025年 2 月期 3 Q	421,400株	2024年 2 月期	421,400株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年 2 月期 3 Q	12,437,030株	2024年 2 月期 3 Q	12,474,564株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が進んだことから緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、原材料・エネルギー価格の高騰が長期化している影響に加え、欧米の高い金利水準の継続に伴う金融資本市場の変動による海外景気の下振れリスクもあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、インバウンド需要の増加により外食需要は堅調に推移しているものの、内食需要は食料品価格やエネルギー価格など、さまざまなものが値上げされたことにより消費者の節約志向が強まり、消費に足踏みがみられます。この影響を受け、漬物などのご飯まわりの関連製品についても、引き続き厳しい事業環境となっております。

このような状況のなか、当社グループは、北海道から九州まで全国に展開している製造・販売のネットワークを活用し、新規得意先や新しい販路の開拓及び既存得意先の拡販に取り組みました。

販売面では、株式会社ピクルスコーポレーションにおいて、日頃のご愛顧に感謝し、生活応援の意味も込めて、「ご飯がススムキムチ」シリーズ3品を対象に20gの増量キャンペーンを実施し、「ご飯がススムキムチ」シリーズの販売促進を行いました。また、株式会社フードレーベルにおいて、ドレッシングやふりかけなどの牛角監修商品などが当選するSNSキャンペーンを実施し、「牛角韓国直送キムチ」や「牛角やみつきになる！丸ごと塩オクラ」の販売促進に取り組んでおります。

製品開発面では、株式会社ピクルスコーポレーションにおいて、ご飯がススムキムチの特長である魚介のうま味と甘辛い味わいが楽しめる4種の野菜が入った「ご飯がススムキムチクッパの素」や開封してすぐ食べられる、サラダ感覚の浅漬の「液切りいらず おしんこ白菜」などの新商品を発売しました。その他にも、株式会社ピクルスコーポレーション札幌において、北海道長沼町産白菜を使用し、酪農学園大学の学生がレシピ・商品名を考案した「酪農学園大学監修 沼る浅漬」を地域・期間限定で発売しました。

製造面では、株式会社ピクルスコーポレーションにおいて、茨城工場（所在地：茨城県結城郡八千代町）の稼働開始に向けて準備を進めております。この工場では「ご飯がススムキムチ」などの生産を予定しており、機械化を進めて生産効率の向上を図っております。

新規事業では、外食事業及び小売事業を行う「OH!!!～発酵、健康、食の魔法!!!～」(所在地：埼玉県飯能市)において、2024年3月に自家製天然酵母を使用したベーカリーショップ「飯能ベーカリー POCO-POCO」をオープンしました。2024年10月には、創業から4周年を迎え、創業祭を開催し、抽選会やワークショップなどのイベントの実施や、レストラン「Femy」において特別コースの提供などを行いました。また、株式会社ベジパルにおいては、さつまいもを使用した商品を開発しており、干し芋やチップスなど、商品ラインナップの拡充に取り組んでおります。その他にも、株式会社ピクルスコーポレーションにおいて冷凍食品を開発し、量販店の冷凍食品売場や業務用への拡販に取り組んでおります。

サステナビリティへの取り組みとして、2024年11月に子ども食堂を利用する方々を招待し、株式会社ピクルスファームでのさつまいも収穫や「OH!!!～発酵、健康、食の魔法!!!～」でのキムチづくりなどの体験型企画を通じた食育活動を実施しました。

売上高は、さまざまなものの価格上昇による消費者の節約志向の影響や、コンビニエンスストア向けの売上が減少したことなどにより減収となりました。

利益については、夏場の高温や夏以降の天候不順などの要因により原料となる白菜や胡瓜などの野菜の価格が高騰したことや物流費や人件費の上昇、売上高が減少したことなどの影響により減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は31,778百万円（前年同四半期比4.4%減）、営業利益は1,312百万円（同10.1%減）、経常利益は1,374百万円（同11.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は921百万円（同10.8%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3,221百万円増加し、30,935百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が936百万円、株式会社ピクルスコーポレーションの茨城工場建設工事等により建設仮勘定が3,374百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が1,092百万円減少したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べて2,627百万円増加し、12,086百万円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が1,126百万円、流動負債のその他が1,875百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて594百万円増加し、18,848百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が474百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきましては、2024年4月12日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,754	6,661
受取手形及び売掛金	4,119	5,055
商品及び製品	380	474
仕掛品	66	75
原材料及び貯蔵品	216	301
その他	85	58
流動資産合計	12,622	12,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,691	4,724
機械装置及び運搬具(純額)	1,564	1,407
土地	6,527	6,523
リース資産(純額)	32	43
建設仮勘定	478	3,853
その他(純額)	143	118
有形固定資産合計	13,436	16,670
無形固定資産		
のれん	206	131
その他	120	87
無形固定資産合計	326	219
投資その他の資産		
投資有価証券	677	797
繰延税金資産	571	542
その他	78	76
投資その他の資産合計	1,327	1,416
固定資産合計	15,091	18,306
資産合計	27,713	30,935

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,892	3,766
短期借入金	1,100	1,000
1年内返済予定の長期借入金	400	1,527
リース債務	5	5
未払法人税等	449	110
賞与引当金	163	59
役員賞与引当金	19	4
その他	1,636	3,511
流動負債合計	6,668	9,985
固定負債		
長期借入金	1,628	908
リース債務	6	21
繰延税金負債	17	21
退職給付に係る負債	818	842
その他	321	307
固定負債合計	2,791	2,101
負債合計	9,459	12,086
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	2,803	2,803
利益剰余金	15,315	15,789
自己株式	△499	△499
株主資本合計	17,719	18,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172	236
退職給付に係る調整累計額	△2	△1
その他の包括利益累計額合計	170	234
新株予約権	352	409
非支配株主持分	11	10
純資産合計	18,254	18,848
負債純資産合計	27,713	30,935

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
売上高	33,255	31,778
売上原価	26,585	25,257
売上総利益	6,670	6,521
販売費及び一般管理費	5,211	5,209
営業利益	1,458	1,312
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	6
負ののれん償却額	21	—
持分法による投資利益	9	19
受取賃貸料	25	25
事業分量配当金	8	7
その他	33	25
営業外収益合計	104	83
営業外費用		
支払利息	4	8
賃貸費用	13	13
その他	0	0
営業外費用合計	18	21
経常利益	1,544	1,374
特別利益		
固定資産売却益	6	—
資産除去債務戻入益	—	4
補助金収入	1	1
受取補償金	10	—
特別利益合計	19	5
特別損失		
固定資産処分損	3	46
特別損失合計	3	46
税金等調整前四半期純利益	1,559	1,333
法人税等	527	412
四半期純利益	1,032	920
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,033	921

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	1,032	920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	63
退職給付に係る調整額	—	0
その他の包括利益合計	△3	64
四半期包括利益	1,029	984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,029	985
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれん償却額及び負ののれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	697百万円	663百万円
のれん償却額	74	74
負ののれん償却額	21	—

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

当社グループは漬物製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

当社グループは漬物製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

当第3四半期連結累計期間において、連結子会社でありました株式会社尾花沢食品は、連結子会社の株式会社ピックルスコーポレーションにより吸収合併され消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。